

28年度

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

入賞作品集

～ふれあいと 絆をつくる 十七字～



主催 福島県教育委員会

<絆部門>

最優秀賞

弟は 母ひとりじめ ぼくがまん

(佐藤 海斗・郡山市立行健小学校4年)

すまないと 手にこめなでる 月あかり

(佐藤 宏美)

<子と母>

父の背と 続く木道 尾瀬の空

(藤井 花・須賀川市立第一中学校1年)

ふり向けば 広がる湿原 子の笑顔

(藤井 義朗)

<子と父>

手際よく トントン切りたい 母のよに

(大竹 藍・矢吹町立矢吹中学校1年)

切れてない 胡瓜と笑いを 盛るサラダ

(大竹登志江)

<子と母>

「ガンバレ」の メモと一緒に 朝ごはん

(橋本 倫花・鏡石町立鏡石中学校3年)

「ありがとう」 メモと一緒に 皿洗い

(橋本 典子)

<子と母>

足音で いいことあった? 今日のこと

(坪根智恵子)

ただいまと なんでわかるの? お母さん

(坪根 未空・いわき市立藤間中学校3年)

<母と子>

優秀賞

ありがとう なかなか言えず 手紙書く

(高橋 麗菜・伊達市立梁川小学校4年)

ポケットに 手紙しのぼせ おまもりに

(高橋 杏子)

<子と母>

五年ぶり 名前呼ばれて てれ笑い

(石井 樹理・相模原市立横山小学校6年)

ふるりの 見覚えある顔 ほっとする

(石井 己香)

<子と母>

雨降りの 迎いの電話 祖父にする

(野口 葵衣・いわき市立藤間中学校1年)

整えて 「迎えに来てね」を 待っている

(鈴木 文夫)

<孫と祖父>

雲の峰 ふわふわ卵に だし香る

(佐久間文菜・郡山市立郡山第二中学校2年)

子につなぐ 亡き祖母の味 舌にのせ

(佐久間 天美)

<子と母>

ドライブで 車中はいつも 相談所

(目黒奈々子)

母と僕 互いの思いを ぶつけあう

(目黒 響・只見町立只見中学校2年)

<母と子>

< 絆部門 >

[敬称略]

[校種・地区順]

佳 作

おにいちゃん ちゃんとできるよ まえまわり
(すどうももか・浅川町立浅川幼稚園年長)

ぼくがねえ にっこりわらうと はっかけだ
(千葉 陽人・新地町立駒ヶ嶺小学校1年)

まかせてね 母に代わって お店番
(鈴木 胡子・下郷町立江川小学校5年)

花火見て 母がいない 家帰る
(阿佐見隼士・白河市立五箇小学校6年)

ほめ言葉 母のみえみえ 大作戦
(蛭田南央斗・鮫川村立鮫川小学校6年)

ふす間ゆれ 家族が集まる 八畳間
(佐藤 晃大・下郷町立下郷中学校1年)

「こうしたら」 祖父に協力 新メニュー
(森本 茉穂・白河市立白河南中学校2年)

反抗期 テスト期間は 停戦中
(赤城 すぐ鈴・会津若松市立第四中学校3年)

卓球の 最後の^{のぞみ}希望を つなぐ夏
(佐藤 夏美・相馬市立中村第一中学校3年)

懐かしい ラリーの^{続かぬ}バドミントン
(大和田真帆・福島県立磐城高等学校1年)

よかったね オレもできるよ さか上がり
(須藤 璃久・浅川町立浅川小学校4年) <妹と兄>

歯っ欠けも かわいい笑顔に 欠けはなし
(千葉 正俊) <子と父>

ありがとう 跡継ぎ候補 ナンバーワン
(鈴木亜希子) <子と母>

病室で 歓声上げる 花火かな
(阿佐見明美) <子と母>

ありがとう 誉めてしめしめ お手伝い
(蛭田 美幸) <子と母>

勉強も 会話も食事も 八畳間
(佐藤みゆき) <子と母>

新作の 味の審査は 孫の顔
(三浦 利幸) <孫と祖父>

願わくば テスト終わりが 終戦日
(赤城俊一郎) <子と父>

白球を 打つ音は^{ね き}冴えて つづく夏
(佐藤 洋子) <子と母>

空に舞う 思い出詰まった 白い羽根
(大和田夏帆・いわき市立好間中学校2年) <姉と妹>



<復興部門>

最優秀賞

一本松 ぼくも同じく 負けないよ

(室 凜太郎・白河市立白河第三小学校3年)

立ち姿 息子と重なる 一本松

(室 美保)

<子と母>

やっぱりね 地元の物は おいしいね

(佐藤 倫己・桑折町立半田醸芳小学校6年)

安心を 食べるしあわせ かみしめる

(佐藤 淳子)

<子と母>

五年たち 母の背たけに おいついて

(星 杏奈・会津坂下町立坂下南小学校6年)

五年たち ふきもみようがも 食卓へ

(星 博美)

<子と母>

只見線 未来に向かって 走り出せ

(梁取 ゆず・只見町立只見中学校1年)

つながれと 只見の空に 汽笛鳴る

(梁取 綾)

<子と母>

海の音 聞こえる心に 変化あり

(大嶋 花音・いわき市立中央台北中学校2年)

海開き えがおがもどる うれしいな

(大嶋 音生・いわき市立郷ヶ丘小学校4年)<姉と弟>

優秀賞

ぼくにはね ふるさとふたつ あるんだぞ

(遠藤 陽介・会津若松市立門田小学校1年)

浜育ち いまも想いは 波にゆれ

(遠藤 朋子)

<子と母>

故郷を じいちゃんの絵で 思いだす

(佐久間友希・三春町立岩江中学校1年)

故郷は 父が遺した 絵の中に

(佐久間美千代)

<子と母>

光る桃 夏の輝き うつくしま

(太田あさひ・白河市立東北中学校1年)

あかつきや 盛夏の宝 福の珠

(太田 勝江)

<子と母>

ふるさとの じゅうねん餅は 祖母の味

(下浦 辰義・加須市立騎西中学校3年)

盆に来る ほころぶ孫の 顔うかべ

(林 ミチ子)

<孫と祖母>

心地良い 太鼓の音に 耳澄ませ

(斎田 紀子)

この町に 帰ってきたよ 盆おどり

(斎田 あず・鏡石町立第二小学校5年)

<母と子>

<復興部門>

佳作

のまおいの たくさんの馬 すてきだね
(横田 遥香・郡山市立薫小学校4年)

久之浜 きずなの花が 空にさく
(上田 雅也・いわき市立久之浜第一小学校4年)

ばあちゃんと 約束したよ また来年
(石井 望海・相模原市立横山小学校4年)

海岸線 見える景色は 防波堤
(矢部まりい・玉川村立玉川第一小学校5年)

仮設でも 住めばみやこと 母が言う
(堀江 武琉・新地町立福田小学校5年)

日差しあび 姉妹で走る えみ浮かべ
(丸山久玲葉・伊達市立伊達小学校6年)

動き出せ 止まった時間 もう一度
(鈴木向日葵・いわき市立田人小学校6年)

震災後 元気をくれる ボランティア
(橋本 謙多・大玉村立大玉中学校1年)

歩き出す 希望の未来に 導かれ
(佐野 雅・白河市立白河第二中学校3年)

今気付く 普通の暮らしが 幸せと
(森 典子)

古里の 馬の姿が 夏をよぶ
(横田 知子) <子と母>

復興の 願いよ届け 大花火
(上田 知佳) <子と母>

帰省して 充電完了 頑張るぞ
(石井 己香) <子と母>

目を閉じて 白い砂浜 波の音
(矢部 憲宗) <子と父>

寄りそって 四人で過ごした 五年間
(堀江 倫子) <子と母>

母嬉し 娘の肌が 小麦色
(丸山 辰枝) <子と母>

福島の この地に生まれ この子なり
(鈴木 宏美) <子と母>

復興に 負けずとたれる 稲穂かな
(木下 美子) <孫と祖母>

食卓に あげる野菜は 地元産
(佐野佐知子) <子と母>

のりこえる いろんなこんなん 家ぞくのわ
(森 歌恋・新地町立新地小学校2年) <祖母と孫>



審査員講評

＜絆部門＞

日常生活のさりげない一コマを柔軟な感性でとらえ、絆の大切さを表現した作品が多くありました。いずれも臨場感にあふれ、読み手に想像する力や、思わず頷くユーモアも与えています。

＜復興部門＞

普段の何気ない生活や暮らしのなかで生じた心と心のハーモニーを敏感に感じとり、心情豊かに十七字で綴った作品が多く見られました。また、我が子や家族そしてふるさとの未来に思いを馳せるとともに、その成長の姿や復興の姿と重ね合わせて表現している作品が多くありあました。どの作品からもぬくもりと温かさゆとりが感じられ、まさにこのことが、精神面での立ち直りと復興が進んできている証と言ってよいのではないかと感じました。

＜総評＞

十七文字の世界に自分の心を託して、それをきちんと大切な人に渡す。それを受け止めた人がまたきちんとお返しをする。大切な家族との心のキャッチボールに、涙したり、笑ったり、憧れたり…、素晴らしい作品にとっても感動させていただきました。

日ごろから家族と素敵な時間を過ごして、互いに信頼し合っているからこそ、それが言葉に宿り、私たちに感動を与えてくれるのだと実感いたしました。

私たちは言葉の中で暮らして、支え合って生きています。しかし時に、私たちの心は言葉の先にあるときがあります。だから言葉に出来ないことがたくさんあります。

しかし言葉に出来ないものを、心のひきだしに閉まってしまわずに、大切な誰かと一緒に開けることで、それを手にすることが出来るのです。それは二人の宝物になるのではないのでしょうか。そのことをみなさんの作品を通して、教えてもらったように思います。

日々の暮らしの中に、大切な心の瞬きがあります。

それをたくさん見つけていって、大切な人と微笑みあい、生きていくことの素晴らしさと、言葉の大切さを、ぜひ実感してほしいとこれからも願っています。

[審査員 一同]

詩人 (本宮高等学校 教諭) 和合 亮一 氏
福島県公立学校退職校長会 副会長 室井 君男 氏
新地町教育委員会 教育長 佐々木孝司 氏



ふくしまから
はじめよう。

問合せ先 福島県教育庁社会教育課

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

電話 024-521-7799

FAX 024-521-7974

ホームページアドレス

<http://www.syakai.fks.ed.jp/>

YouTubeアドレス

<http://www.fmf.co.jp/pcfukushimakizuna/>

発行日 平成29年1月6日

